社会資本総合整備計画 事後評価書

·画 <i>0</i>	期間		平成21年	□度 ~ □	² 成25年度 (5年	間)				対象		焼津市										
)目標		1 /4/217	1,2	AX20+1X (0+	HJ/				1 1/1 1/2		ŊĿ1+113										
2	交通ネッ	トワーク	における	安全で快適	な移動環境と、自	然環境と景	は観に配慮し、災	災害にも強	触い魅力を	る住環境が	ぶ融合し	たうるおいとやすらぎの	ある都市空間	を創出	すること	により、	誰もがれ	利用しや	すく活動	しやすいま	ちを目指す	ナ。
一画	の成果目	標(定量	的指標)																			
				人) の 2 割 やバイク等	削減 で移動するときに	円滑に通行	fできるように <i>た</i>	なったと思	見う市民の	割合 (%)	の増加											
定量的指標の定義及び算定式 定量的指標の現況値及び目標値													備考	供老								
当初現況値 中間目標値 最終目標値														湘与								
Γ.	な温車 お	アトスポ	作 学粉 (1)																		
交通事故による死傷者数(人) 1.898 1.518 ※当初現況値については、平成16年~20年までの平均値 1.898 1.518																						
1,000																						
生活道路の整備が進み、車やバイク等で移動するときに円滑に通行できるようになったと思う市民の割合(%) ※焼津市市民満足度調査による 54.3 60.0																						
	, 2011 111	411:474		•								_						00.0				
4	体事業費		合		250	Α	250	В 0			C0		.,,,,,	効果促進事業費の割合		0.0%						
	211 3.763	`	(A+I)	B+C)	百万円		百万円			百万円	Ŭ	百万円	E /	(A+	B+C)					0.070		
象	事業																					
基草	2事業																					
-	事業	地域	交付	直接	事業者		要素	素となる事	業名			事業内容	市町村	Þ		事業身	延期間	(年度)		全体事業費	進捗	備
	種別	種別	対象	間接	尹耒有			(事業箇所	r)			(延長・面積等)	111m1 小月	7 D	H21	H22	H23	H24	H25	(百万円)	状況	VH
1	街路	一般	焼津市	直接	焼津市		(都))小川港江	道原線				焼津ī	fi						250	Δ	
																	合計			250		
連	社会資本	整備事業													-							
-	事業	地域	交付 対象	直接	事業者		要素となる事業名				事業内容 (延長・面積等)		市町村	名	1101			(年度)	ног	全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備
種別		種別	对家	間接	 						(姓長・田積寺)			H21	H22	H22 H23	H24	H25	(白力円)	状斑	+	
																	0.71					
																	合計			0		1
-	一体的に	実施する	ことによ	り期待され	る効果																	備
果	促進事業																					
番号	事業	地域	交付	直接	事業者		要素となる事業名			事業内容		市町村			事業実	[施期間	(年度)		全体事業費	進捗	備	
_	種別	種別	対象	間接	7.7.0			, C . S S 7	/N-H			1/7/17/1	港湾・地	区名	H21	H22	H23	H24	H25	(百万円)	状況	VH
		L													L		V =1	<u> </u>				+-
_																	合計			0		tille for
-	一体的に	実施する	ことによ	り期待され	る効果																	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関 交付対象事業		・当計画期間内において、事業計画どおり用地買収3件、物件補償3件を実施することが出来た。 ・南部土地区画整理事業との事業区域境の交差点について、本整備計画で用地買収をしたことにより、現道との円滑な接続のための用地を確保できたことから、当該交差点を完成形で整備することが出来た。									
	指標①	最終目標値	1, 518	人	目標値と実績値に差が出た要因	本計画期間内は用地買収、物件補償が主な事業内容であり交通環境の整備効果が発現して					
Ⅱ定量的指標の	交通事故による死傷者数(人)	最終実績値	1, 576	人	日保胆と天瀬胆に左が山に安囚	いないことから、交通事故による死傷者数の2割削減目標が未達成となった。					
達成状況	指標② 生活道路の整備が進み、車やバイ ク等で移動するときに円滑に通行	最終目標値	60. 0	%	目標値と実績値に差が出た要因	道路築造による道路環境の整備効果が発現しておらず、また、市民意識調査の範囲が市全体の調査で本整備計画箇所以外の意見も反映されたことから、生活道路の移動に関する市民の割合を60%へ増加の目標が未達成となった。					
	4 3 4 3 5 1 3 1 H 5 4 H -	最終実績値	48. 4	%	日保値の大傾直に左が山に女囚						
Ⅲ定量的指標以夕	・ 外の交付対象事業の効果の発現状況	南部土地区画	整理事業との事	業区域境	こう こうしゅ こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん しんしん しん	- 、り、関連事業において整備を行っていた雨水幹線の水路法線の変更箇所となる交差点内の水					

3. 特記事項(今後の方針等)

(必要に応じて記載)

・引き続き社会資本整備総合交付金を活用し、事業認可の完了期日である平成30年3月31日までに、対象である小川港道原線の事業完了を目指す。

路整備が出来たことから、治水安全度の向上が図られた。

- ・本路線は、関連事業となる整備計画16、安全でうるおいあふれる人にやさしいまちづくりの焼津南部地区(16-A25)において整備した箇所を延伸する事業であり、整備を実施することで災害時におけ る迅速な道路交通も併せて確保することができることから、安全で快適な移動環境の創出のため早期完了に向けて事業を遂行する。
- ・進捗状況については、○:計画期間内に完成、△計画期間終了後に完成見込み、-:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)